

令和7年度 学校関係者評価報告書

大阪府立 築港小学校 学校協議会

1 総括についての評価

- ・経年調査の結果および全国体力・運動能力調査の結果が良かったことについて評価していただいた。
- ・子どもたちを取り巻く SNS のトラブルの現状について、中学校や地域でのトラブルの情報共有も行われ、本校が進めてきているスマートフォン等の適切な使い方に関わる取り組みについて、大いに評価していただいた。

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

年度目標：安全・安心な教育の推進
<p>○本市調査における「スマホの危険性や適切な使い方について理解していますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合は 94.1%で、目標を達成することができた。</p> <p>○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合は 88.1%で、目標を達成することができた。一部の児童は、自分自身の存在が大切であると思えていない現状があるため、今後も個に応じた対応が必要である。</p> <p>○小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合は、75.1%で、目標を達成することができた。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォン等の適切な使い方については、中学校でも大人でもトラブルも多く小学校段階での教育が重要である。現在、学校で取り組んでくれていることに効果が出ていると感じるため、引き続き取り組みを継続して欲しい。 ・いじめについての否定的なご意見はなかった。取り組みを継続する。 ・自尊心を高めるために、図画工作科の取り組みにも力を入れて欲しい。
年度目標：未来を切り拓く学力・体力の向上
<p>○小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比は、前年度と比較して4年生で+11.5%、5年生で+13.5%と大きく向上し、6年生についても+2.2%向上することができた。</p> <p>○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合は 67.7%で、目標を達成することができた。</p> <p>○学校アンケートにおける「歯磨きの大切さがわかり、朝・昼・寝る前にていねいに歯を磨いている」に対して、肯定的に回答する児童の割合は 93.2%で、目標を大きく上回って達成することができた。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・国語の成績が良くなった。相手の意味を理解してこそなので、引き続き言葉のやり取りを大事にして欲しい。 ・全国体力・運動能力調査の結果がよく、喜ばしい。芝生整備の効果もあると考える。 ・歯磨きの取り組みについての否定的なご意見はなかった。

年度目標：学びを支える教育環境の充実

○授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数は、年間授業日の75.2%（12月時点）で、目標を達成することができた。

○第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合は62.5%で、目標を達成することができなかった。いじめ防止対策委員会等、児童の安全確保に関わる対応を優先したことが主な要因である。

○小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合は69.5%で、目標を達成することができた。

○学校アンケートにおいて、「地域の人と一緒に行動が好きです」に対して、肯定に回答する児童の割合は93.2%で、目標を達成することができた。

- ・児童の学習者用端末活用率が目標を達成していることを伝え、評価していただいた。
- ・働き方改革について、目標が達成できなかった要因についてのご質問があった。教職員が少人数であるため一人当たりの業務量が多いことと、いじめ対応など子どもの安心安全を守るための取り組みに時間を要したことが要因になっていると答えた。
- ・読書については、子ども時代に読む本の重要性についてのお話があり、引き続き読書活動にも取り組んでほしいとのご意見があった。
- ・今年度の地域学習などの取り組みについて報告し、子どもたちの経験の格差を少なくすることが重要であり、引き続き多様な体験活動を行ってほしいとのご意見があった。

3 今後の学校園の運営についての意見

運動会を点数をつけないスポーツフェスティバルに変更する意見が教員から出てきていることについて、意見を求め、次のようなご意見があった。

- ・競うことは大事だが、点数はつけなくてもよい。
- ・得点板はなくてもよい。
- ・応援団は児童が楽しみにしている。
- ・自分自身が成長、他人と比べる必要はない。
- ・異論なし。判断は学校に任せる。
- ・先生方の負担を減らしたらよい。学校の取り組みを進んで行って欲しい。